

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	適応業種支援事業		コード	04-02-03-02	担当課係	商工観光課工業振興係
事業実施期間			担当者	高坂 泰		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり				
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり				
	小項目	工業				
	施策	適応業種の育成				

事業について	
目的	耐火物・備前焼などの地場産業や伝統産業のもつ高度な技術を生かした新しい工業を振興するため、岡山セラミックセンターの機能を活用して異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を図る。
対象 (誰のために)	地場産業従事者
内容	岡山セラミックセンターの機能を活用して異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を図るため、補助金を交付する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助金交付団体数	1 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	7,634	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	840	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	8,474	一般財源等	8,474	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.14	人
結果指標①	結果指標名	補助金交付団体数
	結果指標量	1
	単位	件
	対前年比	—
	事業費	8,474,000 円
	単当たりコスト①	8,474,000 円
結果指標②	結果指標名	
	結果指標量	
	単位	
	対前年比	—
	事業費	円
	単当たりコスト②	円

事業の成果		
成果指標名	補助金交付団体数	式又は説明
		補助金の交付団体数
	17年度	
成果指標量	1	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	1	到達目標年度
		毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	補助金交付による商工業への影響はあると考えられるため、今後も継続していく。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合			
翌年度	結果指標量①	1	結果指標量②	
目標値	成果指標量	1		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	センターの事業活動の周知と活用	中期	商工業の振興が期待される。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

岡山セラミックセンターの活動状況を把握する必要がある。

補助金の交付額算出を厳格に行い、支出している。

補助金の交付に対する影響度は把握しにくい。